

令和7年度 事業所における自己評価結果

事業所
名 放課後等デイサービス ちょあ平塚
従業者
評価対
象者数
注記

公表日

回答者
18 数

18 回答率

100.0%

No.	チェック項目	はい	いいえ	はい率	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	3	83.3%	A・B教室等を使い分け、活動に応じて環境設定している。	活動内容によっては狭さがあるため、整理整頓と空間活用を継続す
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	1	94.4%	児童数に応じた職員配置を行い、必要に応じて加配している。	全職員が安定して対応できるよう育成と配置の平準化を進める。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じた環境上の配慮が適切になされるか。	15	3	83.3%		
4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、活動に合わせた空間となっているか。	17	1	94.4%		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	4	77.8%		
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	14	4	77.8%	ミーティングや記録を通じて改善点を共有している。	一部職員だけでなく、全職員が改善に参加できる時間を確保する。
7	保護者向け評価表により保護者等の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	15	3	83.3%		
8	職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	14	4	77.8%		
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	18	0.0%		第三者評価は未実施。今後必要性
10	職員の資質向上のため、研修を受講する機会や法人内研修の機会が確保されているか。	17	1	94.4%	虐待防止、BCP、安全管理、支援技術等の研修を実施している。	研修内容の共有と受講機会の均等化を進める。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	6	66.7%	5領域を踏まえた支援内容の整理・公表を進めている。	公表内容を定期的に見直し、実際の支援との整合性を確認する。
12	個々のこどもにアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成しているか。	17	1	94.4%		
13	個別支援計画作成時に、児発管だけでなく支援に関わる職員が共通理解の下で検討しているか。	15	3	83.3%		
14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われ	16	2	88.9%		

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールや日々の行動観察等により確認しているか。	15	3	83.3%		
16	個別支援計画に、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等を踏まえた具体的支援内容を設定しているか。	16	2	88.9%		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	2	88.9%		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	2	88.9%	ちょあタイム、制作、運動、DIDIM等、複数の活動を実施している。	児童の特性に応じた段階設定と活動の選択肢をさらに増やす。
19	こどもの状況に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせて支援	17	1	94.4%		
20	支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担を確認しているか。	15	3	83.3%	利用児童・送迎・活動内容を事前に確認して役割分担している。	全職員が同じ情報を確認できる運用をさらに徹底する。
21	支援終了後に職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	4	77.8%	支援記録や申し送りで振り返りを行っている。	繁忙時でも振り返りの時間を確保できる仕組みを整える。
22	日々の支援記録を徹底し、支援の検証・改善につなげている	18	0	100.0%		
23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを適切に	17	1	94.4%		
24	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	16	2	88.9%		
25	こどもが自己選択・自己決定する力を育てる支援を行っている	16	2	88.9%		
26	相談支援事業所や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	2	88.9%		
27	保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	3	83.3%		
28	学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか。	18	0	100.0%		
29	就学前に利用していた保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等との情報共有に努めているか。	14	4	77.8%		
30	学校卒業後に障害福祉サービス等へ移行する場合、必要な支援情報を提供する体制があるか。	11	7	61.1%		
31	地域の児童発達支援センター等と連携し、助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	5	72.2%		
32	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	8	55.6%	地域行事や公園等を活用し、地域との関わりを設けている。	体験会や地域交流の機会をさらに増やす。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	11	7	61.1%		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	100.0%		
35	家族支援プログラムや家族が参加できる研修・情報提供等を行っているか。	9	9	50.0%	面談・電話・HUG等で家庭への助言や情報提供を行っている。	保護者向けのミニ研修や資料提供も検討する。

36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明	18	0	100.0%		
37	個別支援計画作成時に、こども・家族の意向を確認する機会を	18	0	100.0%		
38	個別支援計画を示しながら支援内容を説明し、保護者の同意を	18	0	100.0%		
39	家族からの子育ての悩み等の相談に応じ、面談や必要な助言・支援を行っているか。	17	1	94.4%		
40	保護者会等を開催し、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設けているか。	7	11	38.9%	保護者会の開催等を検討・実施している。	保護者同士が継続して交流できる機会づくりを進める。
41	こどもや保護者からの苦情への対応体制を整備し、迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	100.0%		
42	通信・HP・SNS等を活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか。	16	2	88.9%	HUGで活動写真を共有し、HPでも情報を発信している。	活動内容・職員紹介・公表資料をより見つけやすく整理する。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	100.0%		
44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮	17	1	94.4%		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	10	44.4%	地域行事への参加などを通じて地域との交流を図っている。	地域住民との直接的な交流機会を増やす。
46	事故防止・緊急時・防犯・感染症対応等のマニュアルを策定し、周知・訓練を実施しているか。	16	2	88.9%	事故・緊急時・防犯・感染症等のマニュアルを整備し研修を行っている。	全職員への周知状況を定期確認する。
47	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えた訓練を行っているか。	16	2	88.9%	BCPを策定し、避難・安否確認等の訓練を行っている。	避難先や災害種別ごとの対応を保護者にも分かりやすく周知する。
48	服薬・予防接種・てんかん発作等のこどもの状況を事前に確認	18	0	100.0%		
49	食物アレルギーのあるこどもについて、必要な指示に基づき対応	17	1	94.4%		
50	安全計画を作成し、研修・訓練等の安全管理に必要な措置を講じているか。	17	1	94.4%	安全計画に基づき、点検・研修・訓練を実施している。	実施記録の整理と周知を継続する。
51	安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している	15	3	83.3%	必要な安全情報を家庭へ伝えている。	ホームページや案内文等でも避難
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止策を検討している	18	0	100.0%		
53	虐待防止のため、職員研修等の適切な対応を行っているか。	18	0	100.0%	虐待防止研修を実施している。	全職員が確実に受講し理解できるよう継続的に実施する。
54	やむを得ず身体拘束を行う場合について組織的に決定し、事前説明・同意・計画への記載等を行う体制があるか。	17	1	94.4%		